



俳句

尾形千寿 選

縁側で子等が西瓜の種飛ばす
 森本ヤヨイ
 塾へ行く少年の声雲の峰
 西部光憲
 葉桜や寺に祈りの老い集ふ
 近藤一江
 梅雨の中新聞配る午前四時
 丹下千久子
 郷土史を読み終りたる梅雨籠り
 徳増クニ子
 それぞれの緑染しや夏木立
 徳増和子
 桑の実を食べて古里懐かしむ
 渡部力ズ美
 極楽や青田の風に恵まれて
 近藤義男

川柳

平尾忠文 選

雨にぬれ花の命がもえきれず
 神尾禮子
 私がわたしに返るお湯上り
 川原利代
 仲よしとおしゃべり食事が晴れる
 木原恵美子
 癒しより疲れただけのバス旅行
 行本考葉
 隣からナメクジ付きで来たレタス
 今井マサコ
 種蒔きを見ている鳩の目が丸い
 越智としみ
 手も足も口も動いてありがたい
 東口眞理子
 花の苗植えて疲れが心地良い
 金子幸子

短歌

田坂幸 選

金色の周桑の野が土色にやがて緑色に染まる
 水無月 渡部孝子
 完歩せし十キロロード土小屋にお疲れさまと
 越智幸子
 雄鍋が待つ
 シンビジューム三十あまりを植ゑ替へて背の
 疼きに夜を眠れず 牧原あけみ
 暮れなづむ空に金星三日月を少し離れて光を
 放つ 川原利代
 連山の緑を映す黒瀬ダムゆたけき水を湛へ静
 もる 矢野シヅエ
 麦わらを燃やす煙のたなびきて道前平野に夏
 は近づく 高塚靖樹
 心地よくほほを撫でゆくそよ風は浅瀬を渡り
 花菖蒲揺る 伊賀和子
 幼子を椅子に座らせ若き母本読み聞かす午後
 の図書館 森田広司

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先 〒793-8601 明屋敷164

市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

【お詫びと訂正】7月号に掲載した三好清信様の俳句に誤りがありました。正しくは「初孫を抱きふらここ小さく揺る」でした。お詫びして訂正いたします。

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No. 64 西条市で教わったこと

私が西条市に滞在していた時間を振り返ると、好きなアメリカのロックバンドの歌が思い浮かびます。二人の歌手がどんな経験をしたか、どんなことを学んだかについての歌です。同じように西条市で教わったことを振り返りたいと思います。

私が生徒から学んだのは、楽しくて、励ましの言葉にあふれている教室であれば、誰でも勉強に対して積極的な反応をするということです。

それから、自分の本当の気持ちを隠していても、生徒は英語を勉強するのがとても好きだということも分かりました。ALTの同僚からは様々な教え方がある中で、一番大事なのは英語力を身に付けるきっかけを生徒に与えることだと教えられました。

また、JETプログラムの同僚との会話の中で私たち外国人が一人一人違う理由で日本に来ていることを知りました。西条市の国際交流団体「E.L.I.S」のメンバーからは愛媛県民のおおらかな性格について、西条市の教育委員会の方々からは西条市民の地元に対するプライドの高さを教えてもらいました。去年の西条祭りのときに、新町地区の岩本さんがだんじりを担ぐのを少しでも手伝えば、みんな平等だということを教えてくれました。

小松町にある英会話ボランティアグループに、自分の周りがある世界をより深く知るべきだと教わり、新居浜のガイドクラブの優雅な女性たちが上品な日本文化を紹介してくれました。手話クラブ「架け橋」と西条高校の英語クラブの方々も積極的であることの大切さを教えてくれました。最後に、日本人の友達から、国籍や人種が違って、私たちは希望や恐怖を抱く同じ人間であることが、深く伝わりました。これらの教わったことを全部、決して忘れません。皆様、本当にありがとうございました。 <訳：国際交流員ケイレブ>



▲外国語指導助手

オーデラー・ランバートさん